

令和5年度 1年C組 学級経営方針

担任 安部 純平

1 生徒数 男子19名 女子15名 計34名

2 学級目標 『一致団結』全員で時間を守り、自主性を意識して仲よく全力で考えよう！

3 生徒の様子

生徒は、学級や学校のルールを守ったり、当番活動や日直などの役割に責任をもって取り組んだりし、規律ある集団生活を送ろうとしている。提出物の提出状況は大変良く、期限内に提出している生徒がほとんどである。小学校では人前で話すことや集団での給食を苦手としていたが、4月当初時点では、その課題を克服している生徒が何人かいる。また、学級目標の案や委員会立候補の意気込みなどをクラス全体に対して一生懸命に伝え、聞き手も姿勢を正したり、拍手を送ったりしている。一方、思ったことを口に出してしまう生徒や、姿勢が崩れてしまいがちな生徒も何人かおり、今後の良好な人間関係の形成や学習面において困難を感じてしまうことが予想される。

4 学級経営の重点事項

- (1) 生徒一人一人が役割をもち、責任をもって諸活動に取り組むことで、自主自律の精神を育む。
- (2) 様々な活動に目標をもって取り組み、その達成のために工夫や振り返り、改善を通して、創造性を育む。
- (3) 挨拶を大切にし、物事に協力して取り組むことで、豊かな心を育む。
- (4) 授業や部活動などに一生懸命に取り組む、日頃から生活リズムを整え、健やかな身体を育む。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 授業や委員会活動、部活動などへの生徒の取り組みを評価し、褒めたり、励ましたりすることで生徒の自己肯定感や主体性を高める。また、学級委員にその日の目標や振り返りを話させたり、委員会生徒に呼びかけや注意をさせたりすることで、問題を解決していこうとする態度を身に付けさせる。
- (2) 授業や部活動、学校行事などに取り組む際は、生徒一人一人に目標を明確にさせ、その実現に向けて工夫させたり、先輩を真似させたりすることで、創造性をもって物事に取り組ませる。
- (3) 挨拶をはじめとするコミュニケーションや協力して物事に取り組むことを通して、校則やマナーを守らせ、他者を思いやり、良好な人間関係を築かせる。また、互いの良さや違いを認め合い、全員に居場所のある学級にできるように、まず教員が生徒の表情や人間関係をよく観察し、一人一人を大切にする。そして、いじめは絶対に許さないという毅然とした態度で指導にあたる。
- (4) 見通しをもって勉強や部活動に励ませ、睡眠の大切さやスマートフォンの適切な利用の仕方を適宜指導するなどして、基本的な生活習慣をつけさせる。